

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 20-026)

1 パラオで大統領予備選挙が9月22日実施され、Raynold Oilouch氏とSurangel Whipps Jr.氏が11月3日の大統領選挙に進むこととなった。Alan Seid氏とJohnson Toribiong氏は敗れた。引き続き不在者投票が29日まで実施され、公式結果はその後になる予定だが、上位2名は変わらない見込み。投票率は30%だった。

[原文](#)

(25th September 2020, Island Times)

2 中国は南シナ海での人工島建設戦略と同様、太平洋へ戦略を広げている。昨年台湾承認から中国承認に転換したキリバスの与党TKPのマニフェスト「キリバス20年ビジョン」では、2つの主要ハブ港を首都タラワ環礁とハワイの南に位置するキリスマスイ（クリスマス）環礁に構築することが最優先事項とされ、また、経済発展と気候変動対策を目的として大規模な島のかさ上げが提案されている。これらは、世界的なマグロ好漁場と海底資源の支配を中国にもたらし、潜在的には中国の軍事基地としての用途の可能性を高め、米軍ハワイ基地に対するプレゼンスとなる。中国の太平洋を掌握する戦略におけるもう1つの手段は、フランス領ポリネシアのハオ環礁のリースである。表面的には20億ドル以上かけた魚養殖場の開発だが、海軍艦隊の受け入れに十分な広さと水深を有する。太平洋島嶼国の開発ニーズに他のパートナーが応えないため、ますます中国の支援に傾いており、オーストラリアは、自身の国家安全保障のために、太平洋島嶼国ニーズをより適確に把握し、それに開発援助を合わせる必要がある。

[原文](#)

(11th September 2020, Australian Strategic Policy Institute)

3 ドイツはインド太平洋地域についての新たな政策ガイドラインを発表した。中国中心のアジア戦略に代えて、日本や韓国といった民主主義国家とのパートナーシップに焦点を当て、法の支配の重要性と市場開放の促進を強調している。中国市場が期待通りに開放されない一方で、中国経済へ依存し過ぎる問題や、香港の国家安全保障法及びウイグル人抑留施設など、人権問題への警戒感がヨーロッパ全土で高まっていることのあらわれであり、フランス、日本、オーストラリア、ASEAN諸国のアプローチとも共通するものだ。

(関連参考記事：在インドネシア独大使による寄稿 [リンク](#)参照)

(関連参考記事：日本のASEAN大使による発言 [リンク](#)参照)

[原文](#)

(9th September 2020, Nikkei Asian Review)

4 第75回国連総会に合わせて、サンゴ礁を保護するためのこの種で初めての「サンゴ礁世界基金」(The Global Fund for Coral Reefs)が発足した。今後10年間で5億ドルを調達し、サンゴ礁保全に投資することを目指す。

[原文](#)

(16th September 2020, UNEP)

5 9月15日1200までの1週間で、太平洋地域におけるCOVID-19感染は、パプアニューギニア(PNG)で感染症例数が516件(前週497件)、死者数が6人となった。フランス領ポリネシアは1,055件(同773件)となり、初めての死者2人が確認された。グアムでは1,891件(同1,671件)となり、北マリアナ諸島では60件(同58件)、フィジーでは検疫で1件確認されて32件となり、インドネシアのパプア州と西パプア州は合計で5,757件(同5,088件)となった。

PNGの感染は300件が首都区、185件が西部州で記録されているが、検査能力が限られているため、感染者数が過小報告されている可能性があるとして警告を発出した。また、財務相の発表で、国の債務が2020年はGDP比で40.3%だったのに対し、2021-2022年は55%に増加することが明らかとなった。

フランス領ポリネシアでは、公共の場でのマスクの着用義務付けられた。同地域では1,055件のうち993件が第2波で記録されており、これは7月の観光再開のための国境開放の時期と一致している。

ソロモン諸島については、フィリピンにいる6人の学生の感染が確認された。フィリピンにいる385人のソロモン諸島の人々が本国送還を待っている。一方、PNGのブーゲンビルとの国境閉鎖に伴う食糧不足の懸念について、ソロモン諸島政府は、同国ショートアイランド島の住民への食料供給を保証した。

キリバスは国民の本国送還を除いて年内は国境を開放しないことを発表した。同国は本国送還の準備がほぼ完了しているとし、マーシャル諸島に居る20人が最初となる予定である。

グアムでは、感染の70%が8月及び9月に確認され、検査の陽性率も10%に達し、第2波の深刻さが浮き彫りとなった。249件が米軍関係者となっている。

北マリアナ諸島では、唯一の病院が料金未払いで電気が止まり、6時間予備電源での運用を強いられるなど、その医療の状況が明らかとなった。(※各国別の最新の詳細は[リンク](#)参照)

[原文](#)

(16th September 2020, Policy Forum)

6 韓国のヒュンダイサムホ重工業はシンガポールのEastern Pacific Shipping (EPS)に世界初のLNG駆動の超大型コンテナ船「CMA CGM Tenere」(長さ366m、積載量14,800TEU)を納入した。

[原文](#)

(16th September 2020, Marine Link)

7 インドネシア海上保安機構（BAKAMLA）は、同国排他的経済水域である北ナツナ海に許可なく入域した中国海警局巡視船を退去させた。インドネシア当局によると、中国巡視船はいわゆる九段線を巡回する権利を主張した。2016年、国際裁判所は九段線を法的に根拠がないとして退けている。

[原文](#)

(13th September 2020, The Jakarta Post)